



事務事業名	国分舞鶴園老人ホーム運営事業	所属部	保健福祉部	所属課	国分舞鶴園
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	老人ホームの運営事業としては、入所者が、生きがいのある快適な生活を送れていると考え、概ね適切である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策



事務事業名	横川長安寮老人ホーム運営事業	所属部	保健福祉部	所属課	横川長安寮
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 施設において、各種支援を受けながら快適で明るい日常生活を送れることから政策体系に結びつく。
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 措置入所理由は老人福祉法第11条による。「経済的理由」及び「環境上の理由」により居宅にて生活をする事が困難な高齢者が入所する施設が必要である。
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 入所定員60名で対象者は限定すべきである。
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 季節に応じて各行事の実施・食事の提供・レクリエーション等を実施し、快適な園生活を送っている。要介護者で希望者は介護保険の外部サービスを利用。
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 入所者個人個人の日常生活の世話をしてくれる所が無くなり経済的負担の増加、快適な生活環境の悪化につながる。
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 介護施設ではなく、養護老人ホームである。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 入所者に対して、心身の健康の保持及び生活の安定の為、介護・看護・料理・処遇のサービスを提供するために削減はできない。
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 入所者は高齢であり、病弱なため緊急な病院受診も多々あり、付き添い等も多いため、職員の配置を工夫している状態である。入所者の機能低下防止と日常生活の自立へ向けて、クラブ活動・レクリエーション等にも時間を有効に使っているため、削減の余地なし。
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 入所者に対して、介護・看護・料理・処遇のサービスは公平に行っている。対象収入によって階層区分があり基準がきまっている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 養護老人ホーム運営事業に添った運営で、入所者も毎日が家庭的な雰囲気と住みよい環境のもと、各支援を受けながら楽しい園生活を送っている。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案>	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

No.	480-030	事務事業名	日当山春光園老人ホ - ム運営事業			所属部	保健福祉部
						所属課	日当山春光園
政策体系	政策名	05	たすけあい支えあまちづくり			課(園)長名	今吉 睦美
	施策名	03	地域福祉の推進			所属G(係)	管理係
	基本事業名	04	高齢者の自立支援サ - ビスの推進			電話番号	42-0001
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 老人福祉法、霧島市養護老人ホームの設置及び管理に関する条例
	一般	03	01	06	47010	管理運営費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
入所者に対して、心身の健康の保持及び生活の安定のため、介護、看護、食事、栄養管理、処遇のサービスを提供し、入所者が毎日を家庭的な温かい雰囲気と、住みよい環境のもとで、明るく、楽しく、生きがいを感じられる園生活を築く。日当山春光園は、隼人の北部にある施設で、市が設置、運営を行っている。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 49 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
介護、看護、食事の提供、栄養管理、クラブ活動、レクリエーション、生活指導、入所者の処遇計画、預かり金等の管理、各種納付・受け取り		ア	入所者数(施設サ - ビスを提供した人数)
			50人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
日当山春光園の入所者(65歳以上で経済的理由、環境上の理由があり、ある程度自立した生活が送れる方)		名称	
入所者は、別事業で開催される福祉事務所の入所判定委員会事業において決定される。		単位	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		名称	
快適で明るい日常生活を送る。		単位	
		ア	入所者数
			50人
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
介護・福祉サ - ビスが受けられる。		名称	
		単位	
		ア	施設の管理運営に対する苦情件数
			0 件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	介護・介護を支援・福祉サ - ビスの利用者数
			50人
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	40,242	35,453	37,115	40,495	
		一般財源	千円	18,635	22,136	22,478	25,075	
		事業費計(A)	千円	58,877	57,589	59,593	65,570	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	58,877	57,589	59,593	65,570	
活動指標	ア	50人	50	50	50	50		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	50人	50	50	50	50		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%	未把握	未把握				
	イ	件	0	0	0	0		
	ウ							
上位成果指標	ア	50人	4,604	4,673	4,742	4,889		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和27年5月鹿児島県社会福祉事業協会により定員30名で発足。昭和33年定員50名に増員。昭和49年8月隼人町に移管され、「隼人町立日当山春光園」と名称変更、昭和54年4月から現在地に移転し、平成17年11月、合併により霧島市立となり、現在にいたる。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成18年4月1日、老人福祉法第17条第1項の規定による養護老人ホームの設備及び運営に関する基準が改正され、養護老人ホームにおいても入所者の介護保険利用が可能となる。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
入所者、家族ともに喜ばれている。	

事務事業名	日当山春光園老人ホ - ム運営事業	所属部	保健福祉部	所属課	日当山春光園
-------	-------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	施設において、各支援を受けながら快適で明るい日常生活を送れることから政策体系に結びつく。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	措置入所理由は老人福祉法第11条による。「経済的理由」及び「環境上の理由」により居宅にて生活することが困難な高齢者が入所できる施設が必要である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	入所者定員50名で対象者は限定すべきである。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	食事、レクリエーション、季節に応じた行事等が提供され、日常の快適な生活を送られている。又、介護認定者で希望者は介護保険外部サービスを利用している。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	入所者個人個人の日常生活の世話をしてくれる所がなくなり、経済的負担の増加、快適な生活環境の悪化につながる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	入所者に対して、心身の健康の保持及び生活の安定のため、介護、看護、食事、処遇のサービスを提供するために削減はできない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	入所者は高齢であり、病弱なため緊急な病院受診も多々あり、付き添い等も多いため、職員をやりくりしている状態である。入所者の機能低下防止と日常生活の自立へ向けて、クラブ活動・レクリエーション等にも時間を有効に使っているため、削減の余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	入所者に対して、心身の健康の保持及び生活の安定のため、介護・看護・食事・処遇のサービスを提供するために削減はできない。対して、介護、看護、食事、処遇のサービスを公平に行っている。対象収入によって階層区分があり、負担基準が決まっている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	老人ホームの運営事業としては、入所者が楽しく健全な環境のもとで、生きがいのある快適な生活を送っていると考えます。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) < 改革改善案 >		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	480-040	事務事業名	国分舞鶴園生活指導型ショートステイ事業				所属部	保険福祉部
							所属課	国分舞鶴園
政策体系	政策名	05	たすけあい支えあうまちづくり				課長名	後庵 嘉文
	施策名	03	地域福祉の推進				所属G(係)	管理G
	基本事業名	04	高齢者の自立支援サービスの推進				電話番号	46-2205
予算科目	会計	一般	3	1	6	47010	事業名	管理運営費
	法令根拠	老人福祉法、霧島市立養護老人ホームの設置及び管理に関する条例						

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
福祉事務所からショートステイの依頼があった高齢者を養護老人ホームに一時的(原則として7日以内)に受け入れ、日常生活の指導・体調管理を図る。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 12 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 介護、看護、食事の提供、栄養管理、生活指導		ア	入所者数
		イ	
		ウ	
20年度計画(20年度に計画している主な活動) 前年度と同様		単位	
			人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ショートステイで入所している老人		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	入所者数
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 規則正しく快適で明るい日常生活を送る。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	施設の生活に関する満足度
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 介護・福祉サービスが受けられる		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	介護サービスや介護を支援するサービス、福祉サービスの利用者数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	35	87	0	87	
		一般財源	千円	71	179	0	179	
事業費計(A)		千円	106	266	0	266		
トータルコスト(A)+(B)		千円	106	266	0	266		
活動指標		ア	人	3	1	0	5	
		イ						
		ウ						
対象指標		ア	人	3	1	0	5	
		イ						
		ウ						
成果指標		ア	%	100	100	0	100	
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア	件	4,604	4,673	4,742	4,882	
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成12年12月に現在地に移転新設されショートステイ室を3室確保。その為、福祉事務所からサービス提供依頼があり、受け入れている状況である。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成12年度1人、13年度1人、15年度1人、17年度1人、18年度3人、19年度1人利用している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	国分舞鶴園生活指導型ショートステイ事業	所属部	保険福祉部	所属課	国分舞鶴園
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 施設において、一時的に各支援を受けながら快適で明るい日常生活を送れることから政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 霧島市保険福祉部高齢・障害福祉課の所管による老人短期入所運営事業実施要領に基づき短期入所を受け入れており妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ ショートステイ事業の対象者である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 短期入所である為、特に無い。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 高齢者を一時的に世話をする施設が無くなり、本人・家族が困窮する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 介護認定者は介護施設に介護保険で入所できるが、認定されていない老人は、経済的負担が大きいため、養護老人ホームに入所している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 入所者に対して、心身の健康の保持及び生活の安定の為、介護、看護、料理、処遇のサービスを提供する為に削減できない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 養護老人ホーム運営事業の職員体制の中でショートステイ事業の運営を行っている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 入所者に対して、介護、看護、料理、処遇のサービスを公平に行っている。実施要領で1日当たり381円及びび飲食物等の実施負担となっている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	老人ホームのショートステイ事業としては、入所者が、一時的に生きがいのある快適な生活を送れており、又家族にも喜ばれて(安心され)いると考え、概ね適切である。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			▲																		
	低下	▲	▲	▲																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						